

広野保育園けんこうだより 2月号



令和6年1月26日
幼保連携型認定こども園
広野保育園
No.34

2月4日は立春で暦の上では春を迎える時期とされていますが、これから2月にかけて最も寒くなります。インフルエンザなどの冬の感染症が増えてくることも考えられますので、手洗いをしっかり行い感染症予防に努めましょう。

もうすぐ節分です！

豆での窒息に注意!!



豆まきは楽しい行事ですが、この時期は子どもが豆を気管に詰まらせる事故が起きやすく注意が必要です。豆類は小さくて硬く滑りやすいため、歯が生えそろうず、噛む力が不十分な子どもはうまくかみ砕けず、気管に入ってしまうことがあります。日本小児呼吸器学会では「3歳になるまでピーナッツなどの豆類を食べさせないで」と注意喚起しており、一部メーカーのピーナッツの袋には「4歳未満のお子様には食べさせないでください」と赤字で明記されるようになりました。しかし3歳、4歳になったから安心というわけではありません。子どもが豆を食べている間は必ずそばにつき、豆を気管に詰まらせないように見守る必要があります。

のどや気管に詰ませた時の症状



- ・突然息ができなくなる。
- ・急に咳込んだり息が苦しそうになったり、弱々しい咳しかできず、泣き声もか細い状態になる。
- ・急に咳込んだ後、咳が続いたり、息をするとどのどや胸からゼーゼーやヒューヒューという音が聞こえたりする。



詰ませた時の応急手当

- ・意識がある場合は「ハイムリック法」、乳児は「背部叩打法」を行います。
- ・吐き出したものは、顔を横に向けさせて口を開いてかき出しましょう。



ハイムリック法

後ろから抱きかかえ、みぞおちにこぶしをあて、上に向かって押し上げる

乳児

背部叩打法



うつぶせにした乳児を片腕に乗せ、背中を強くたたく

のどや気管に詰ませたら

- ・咳込んでいても、息ができていなら、できるだけ泣かせないようにしながら急いで医療機関を受診しましょう。
- ・豆が詰まって声が出せず窒息しているような状況では、すぐに救急車を呼んで下さい。
- ＊豆が残っていると肺炎を起こす危険があります。速やかに医療機関を受診しましょう。



しもやけ・あかぎれ

しっかりケアしましょう

●しもやけは寒さが原因

しもやけは、手足が冷えて血行が悪くなるために起こります。特に、雪遊びなどで冷たくぬれた状態が長時間続いたときに起こりやすいようです。



●お湯で温める

しもやけの部分をぬるま湯につけて血行を良くします。小さな子どもならそのまま入浴させても良いでしょう。また、しもやけ予防のためには、ぬれた手袋や靴下をそのままにせず、乾いたものに替えましょう。



あかぎれ



●あかぎれは乾燥が原因

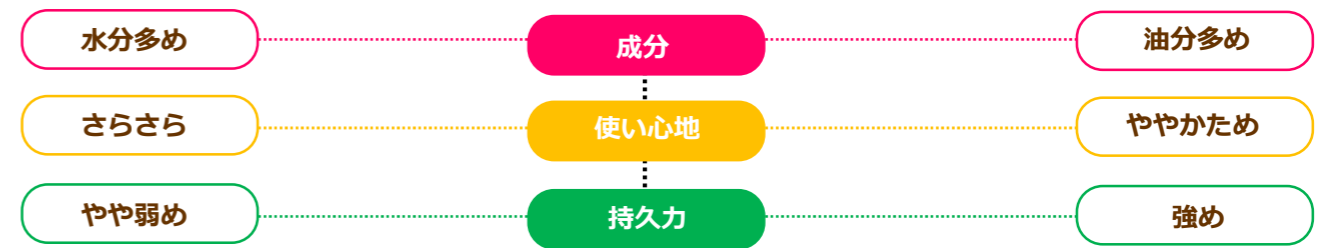
空気が乾燥すると皮膚の潤いも失われます。特に手は外気に触れやすく、手洗いで乾燥しがちです。手の甲がガサガサしたり、ひどいときはひび割れができて血が出たりします。

●ハンドクリームなどで保湿する

手を洗ったら、あかぎれの治療と予防を兼ねてクリームで保湿します。あかぎれをこすると痛むので、やさしく塗ってあげましょう。



保湿剤、使い分けましょう!



2月の身体測定

- 2/20(火) 0歳児(ひよこ組) 1歳児(桃組)
- 2/21(水) 2歳児(桜組) 3歳児(梅組)
4歳児(竹組) 5歳児(松組)



1月の感染症発生状況

- 感染性胃腸炎・・・8名 (胃腸炎含む)
 - 溶連菌感染症・・・3名
- 1月25日現在